

自然林に覆われたその幽邃さは鎌倉一 鎌倉・番場ヶ谷

実施日 2016年2月28日(日)

天候 晴

リーダー 一柳 昭

S L 伊藤久雄

参加者 若村貴世子、若村勝昭、一柳昭、涌井良明、安田三恵子、伊藤久雄、石原勝正、岩崎陽子、関塚七海、矢作多恵子、天野拓郎、白石佐恵、平川清秋、佐藤聡美、平川鋼一、吉澤秀昭、関口明男、山崎雄也、片山忠男、G(庄司清隆) 計20名

費用 JR(品川⇒逗子駅・鎌倉⇒品川)各712円 計1,424円

タイム 逗子駅(9:00~9:06)久木大池(9:34~9:38)十二所果樹園(10:22~10:35)見晴台(10:40~10:45)熊野神社(11:10~11:15)朝夷奈切通し(11:30)昼食(11:40~12:15)十二所神社BS(12:20)番場ヶ谷(12:35)天園(13:35~13:48)お塔のやぐら(14:15)瑞泉寺(14:57)鎌倉宮(15:10)鶴岡八幡宮(15:23)鎌倉駅(15:30)

暖かい中20名で逗子駅を出発、久木住宅地に入ると池子尾根が見始める。

以前は池子尾根の端から登れたが住宅が建ち登山口が閉鎖されているので久木大池まで行く。



久木大池から六浦までが「やまなみコース」になっている。ここから池子尾根に取り付く。尾根沿いには

米軍住宅地(旧:米軍池子弾薬庫)の鉄条網やコンクリート堀が続いている。

途中の十二所果樹園の約400本の梅が満開で目を楽しませてくれた。



この後の見晴台からの眺めは良いが暖かいせいか富士山は見えなかった。

元の尾根道に戻り進むと分岐に着く。ここまま進めば「やまなみコース」の終点の六浦駅に行くが途中は見ることがないので左折し熊野神社に向かう。熊野神社は鎌倉幕府が朝夷奈切通を護るために建てられたものです。



一年中道の悪い朝夷奈切通しを慎重に歩き出口の広がっている所で昼食をとった。午後は十二所神社バス停から吉沢川に沿った住宅地に

入る。左に瑞泉寺・天園方面に向かう霧ヶ谷コースを見送って行くと突然住宅地が途切れ、ここから番場ヶ谷に入る。

これから先は小道になりヤブの中になんか紛れるようになってくる。しかも渇水期の冬でも湿地帯を



抜き足、差し足、忍び足的な格好で歩く。湿地帯を通り抜けナメ状の浅い流れに入って行く。このまま行くとお塔の道コースに入ってしまうので左岸に取り付く。ここまま沢沿いの道を進むと対岸に渡る橋が落ちており、2メートルほど下の沢床を渡って右岸に出る。目まぐるしく両岸を行き来すること十数回、ほとんど流れのなくなった源流をはい登る。すっかり水が消えたころ数本のイチョウの大木のそばを通り過ぎる。ここは一昨年12月の山行の際に寄ったところで黄葉時はとても見事ですので、一見の価値があります。ここから一息ががんばって登ると金沢八景から天園へのハイキングコースに出る。

大平山で大休息後、天園ハイキングコースを下る。貝吹地蔵を経てお塔の道を下りお塔のやぐらコース、番場ヶ谷、霧ヶ谷コース、瑞泉寺、鎌倉宮を経て鶴岡八幡宮に出た。



鎌倉駅までは混雑するので鶴岡八幡宮で解散となったが片山忠男さんが入会していただき新しいお仲間が増えました。

参加者から「鎌倉の知る人ぞ知る面白い歩きを楽しめました」と感想をいただきました。

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)